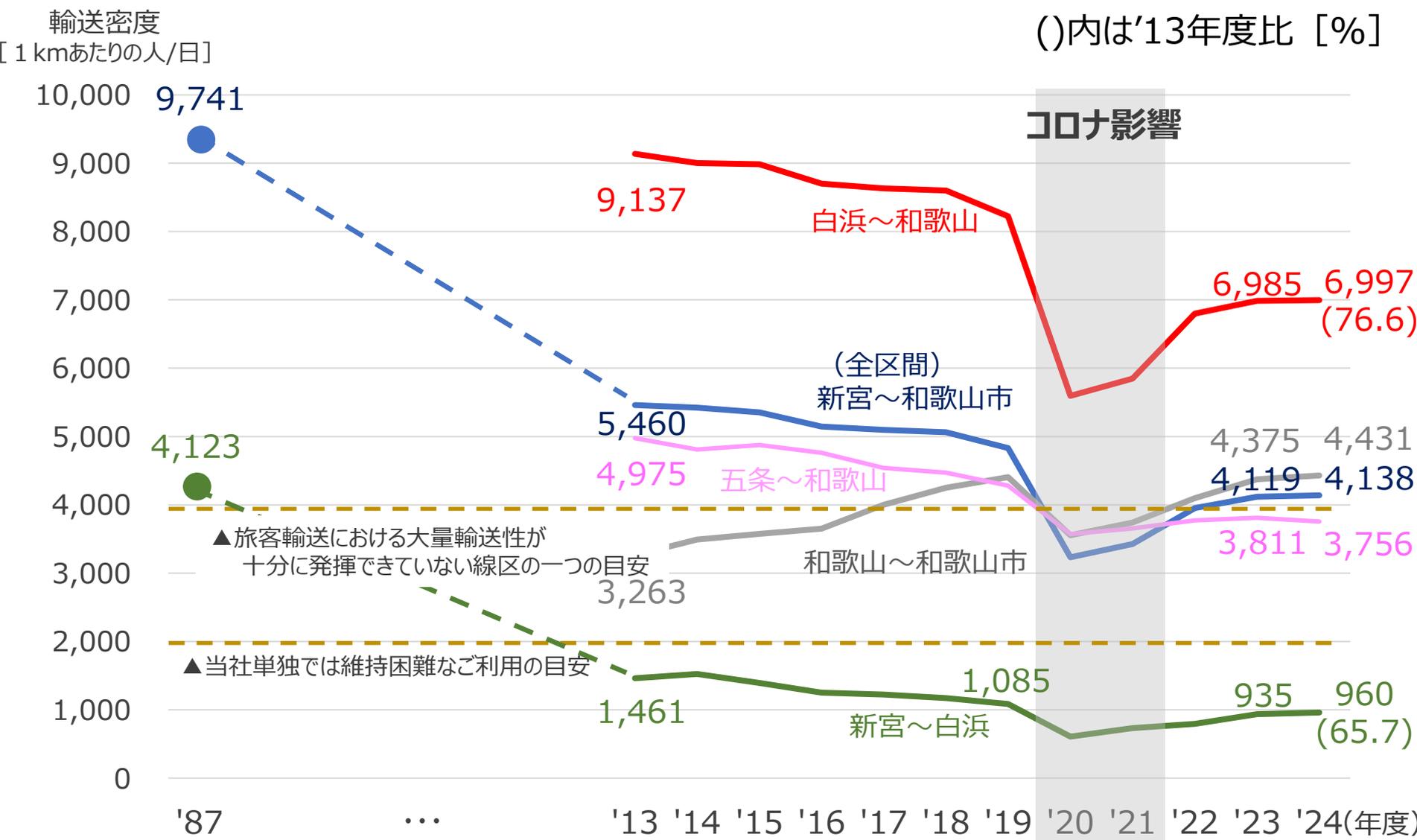


■ 2026年度紀勢線新宮～白浜の利用促進策について

1. 増便実証実験開始後3カ月間のくろしおのご利用状況、2025年度の利用促進の取り組み
2. 地域公共交通再構築調査事業を活用した特急「くろしお」増便実証実験延長
3. 「紀南くろしお乗り放題特急券」の発売開始

2026年3月9日
JR西日本 和歌山支社

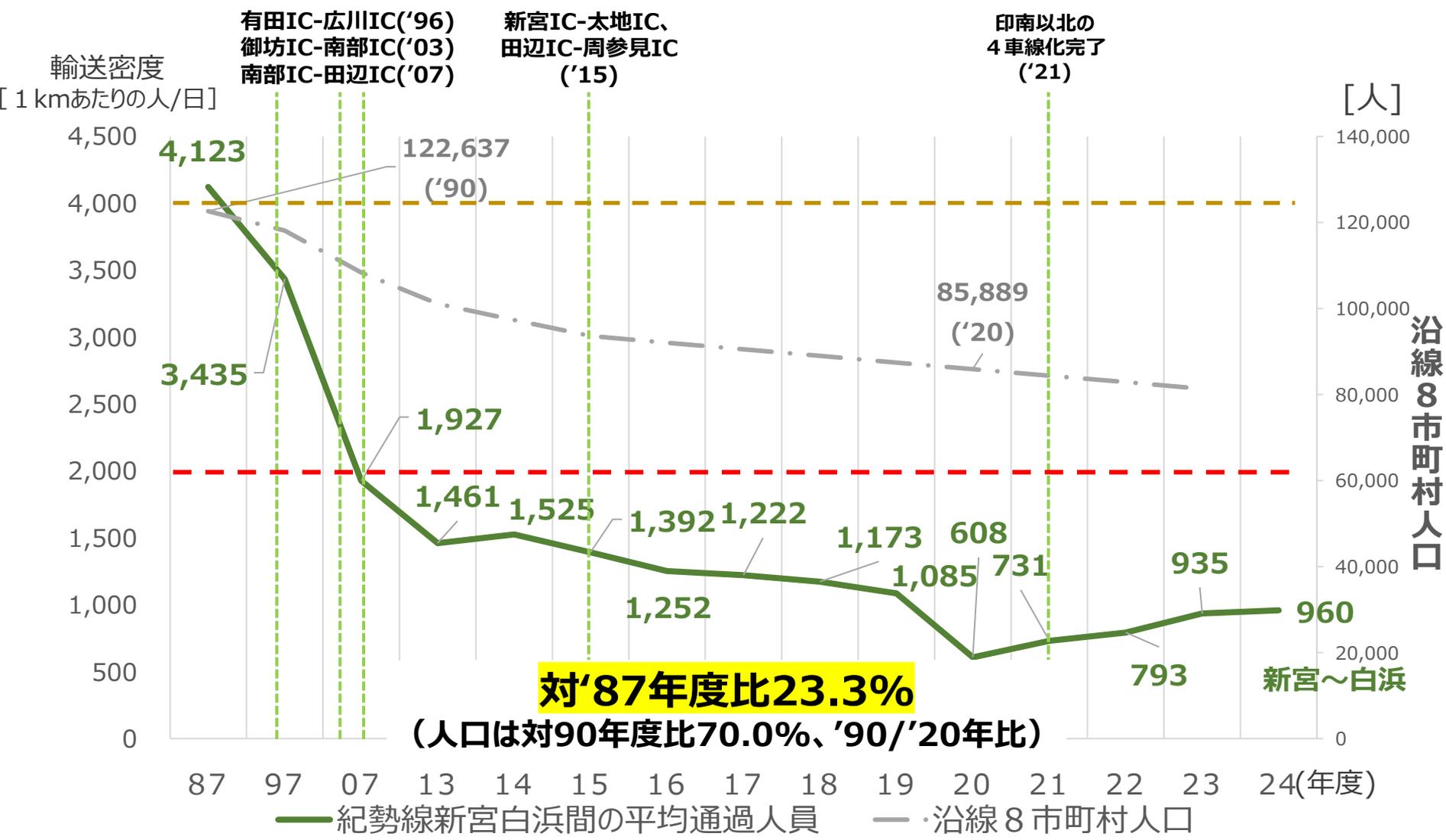
和歌山支社エリアのご利用状況～輸送密度～



'13年度以降と比較すると、最も減少率が高いのが新宮～白浜間であり、65.7%の水準。また和歌山線五条～和歌山間についても4,000人を下回る水準となっている。

紀勢線（新宮白浜間抜粋）

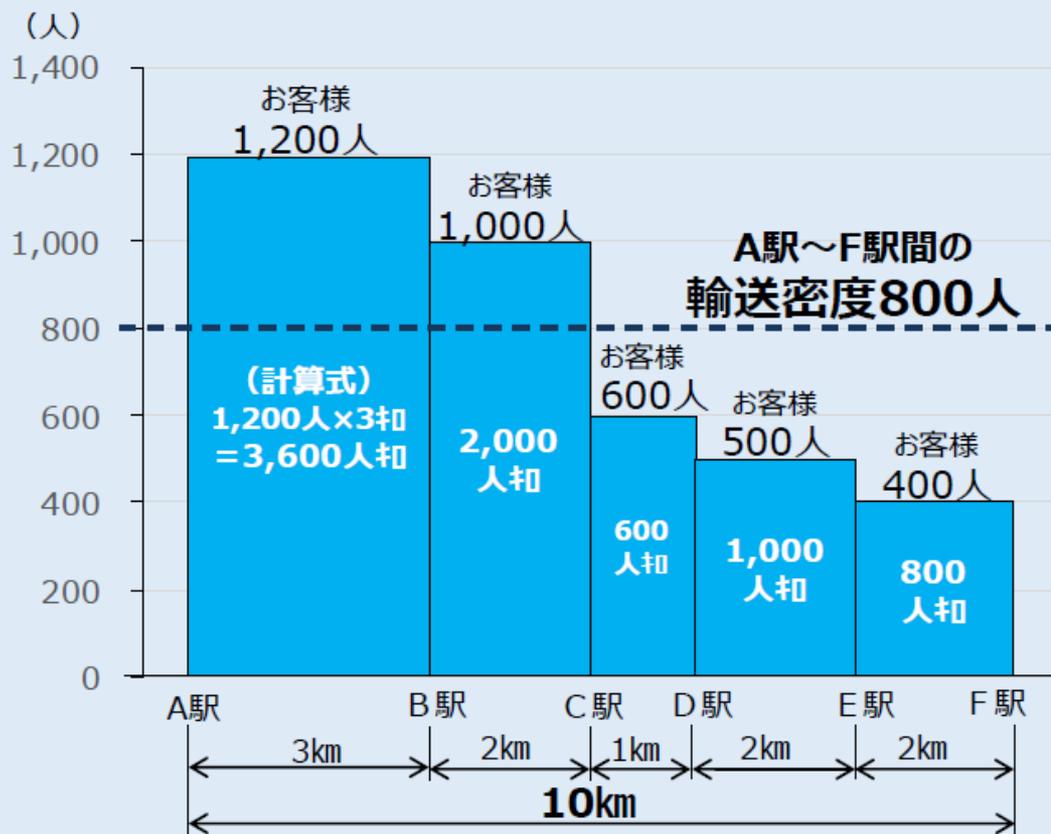
ご利用の推移と高速道路延伸



	線区運輸収入	線区営業費用	収支率	線区営業係数
'22-'24年度平均(25.10公表)	5.7億円	36.9億円	15.4%	650円

○輸送効率の実績を示す指標、線区全体のお客様のご利用状況には、駅間ごとに凸凹があるのが一般的、この凸凹をならした、区間全体の1日1kmあたりの平均人員を「輸送密度（平均通過人員）」といいます。

(例) A駅～F駅の駅間別輸送人員（1日あたり）



線区合計
8,000人キロ

÷

10km

||

輸送密度
800人

1. 新宮白浜区間部会のこれまでの取り組み

- 22.10 第1回部会開催
※構成員：県（総合交通政策課、地域振興局）、沿線8市町村、和歌山大学、当社の課長級
- 24.4 沿線自治体負担金を活用した利用促進事業を開始
学生団体利用への新宮・白浜間の乗車券・特急券を全額補助
- 24.8 第9回部会開催
26年度数値目標を設定（前頁参照）
沿線住民へのアンケート調査実施（地域公共交通再構築調査事業を活用）
- 25.4 第12回部会開催（首長級臨席で初開催）
- 25.8 25年度部会利用促進策プレスリリース（県、新宮市、JRで共同記者レク実施）
- 25.11 第16回部会開催（首長級臨席、増便初列車に乗車しPR）
くろしお増便実証実験開始（地域公共交通再構築調査事業活用）
- 26.1 第1回研究会を開催（副首長級臨席、議事・資料非公表）
以降、概ね四半期に一度開催し、現状分析および今後の地域交通について議論
- 26.1 新宮・串本間で尾崎酒造(株)協力のもと貸切列車を運行（同調査事業活用）
定員60名に対し、55名が参加（過半数が紀南エリア居住者）

○部会利用促進策に関する記者レクチャー（25.8.21）



左から、新宮市企画調整課池田係長、県総合交通政策課石井課長、弊社和歌山支社副支社長・磯川

○くろしお増便実証実験開始、関係首長等乗車（25.11.4）



左から、太田和歌山統括駅長、宮崎県知事、弊社和歌山支社長・富澤



新宮駅での関係首長等による記念撮影

○新宮駅、白浜駅の駐車場割引（新宮市営駐車場、白浜町営駐車場）

割引券を配布します！



新宮市営駐車場割引

期 間	令和7年11月1日～令和8年3月31日 <small>※実施状況により予告なく終了する場合があります</small>
内 容	駐車料利用料金1日分(1日最大700円)の割引券1枚を配布
対 象 者	特急くろしお利用者(新宮駅発着に限る)
取 得 方 法	乗車時に新宮駅係員へ下記項目をご提示ください 1. 駐車券(特急くろしお) 2. 特急券(特急くろしお) <small>※スマートフォンをご購入の際はスマートフォン画面をご提示ください ※駅員により対応できない場合があります ※乗車時刻のご乗車までにご注意ください ※乗車時刻：新宮駅発11時・15時・19時・21時 ※配布開始日はご利用できません</small>

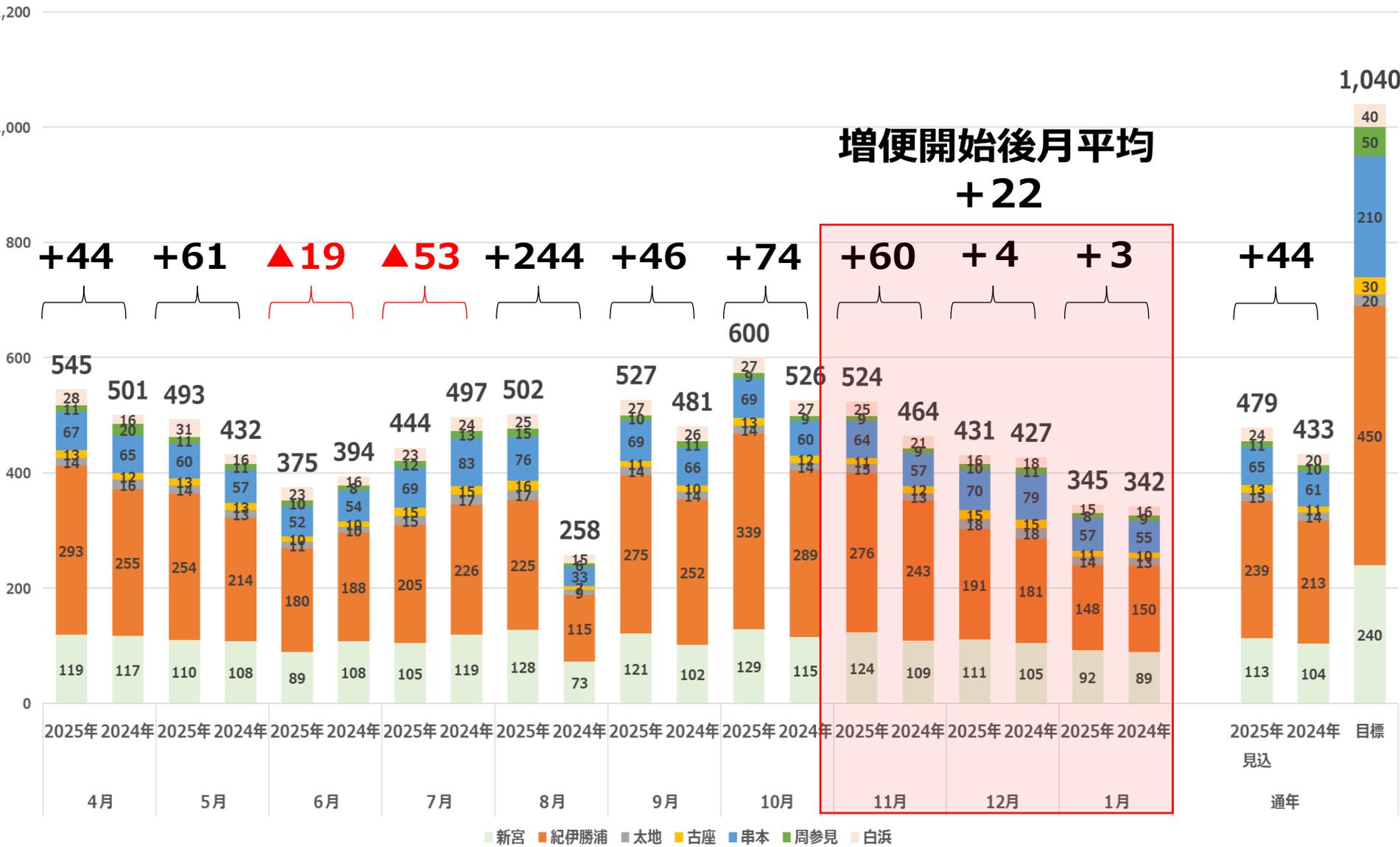
配布方法
 紀勢本線活性化促進協議会
 新宮白浜区間部会(新宮市企画調整課内)
 〒947-8565 新宮市春日1-1 ☎0735-23-3339
 Mail:kikaku@city.abihigo.lg.jp Fax:0735-23-3406

○臨時列車運行（尾崎酒造(株)協力）（26.1.31）



1. 新宮白浜区間部会の取り組み～数値目標設定とその進捗～ 6

○各駅の1日あたりの特急列車乗車人員【人/日】 ※24.8は南海トラフ臨時情報の影響



■新宮 ■紀伊勝浦 ■太地 ■古座 ■串本 ■周参見 ■白浜

1. 新宮白浜区間部会の取り組み～数値目標設定とその進捗～ 7

第9回部会（24.8.23）において、輸送密度2,000人を達成するため、同数値に近い2007年度（1,927人）の特急列車乗車人員を数値目標化。

○各駅の特急列車乗車人員【人/日】 ※24.8は南海トラフ臨時情報の影響

	26年度 数値目標	進捗												目標との差 (24年度実績比)
			全期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
新宮	240	24年度	104	117	108	108	119	73	102	115	109	105	89	▲136
		25年度		119	110	89	105	128	121	129	124	111	92	
紀伊 勝浦	450	24年度	213	255	214	188	226	115	252	289	243	181	150	▲237
		25年度		293	254	180	205	225	275	339	276	191	148	
太地	20	24年度	14	16	13	10	17	9	14	14	13	18	13	▲6
		25年度		14	14	11	15	17	14	14	15	18	14	
古座	30	24年度	11	12	13	10	15	7	10	12	12	15	10	▲19
		25年度		13	13	10	15	16	11	13	11	15	11	
串本	210	24年度	61	65	57	54	83	33	66	60	57	79	55	▲149
		25年度		67	60	52	69	76	69	69	64	70	57	
周参 見	50	24年度	10	20	11	8	13	6	11	9	9	11	9	▲40
		25年度		11	11	10	12	15	10	9	9	10	8	
白浜	40	24年度	20	16	16	16	24	15	26	27	21	18	16	▲20
		25年度		28	31	23	23	25	27	27	25	16	15	
合計	1,040	24年度	433	501	432	394	497	258	481	526	464	427	342	▲607
		25年度		545	493	375	445	502	527	601	524	431	345	

2. 地域公共交通再構築調査事業を活用した取り組み

	24年度	25年度	26年度 ※本日リリース
「くろしお」増便 実証実験	(参考) 月～木 : 5往復 金土日祝 : 6往復	毎日6往復 (25.11.4～26.3.31)	毎日6往復 (26.4.1～27.2.25)
「くろしお」増便 実証実験以外の 取り組み	・沿線住民への アンケート調査	・京阪神エリアでの プロモーション ・「くろしお」への 乗り込み調査 ・貸切列車運行 ・駅前駐車場割引	・「紀南くろしお乗り放題 特急券」等商品訴求 ※増便実証に付帯 ・観光プロモーション ・沿線観光地での アンケート調査 ※交付決定済の取り組みのみ記載 ※補助対象最終年度

○増便を延長する「くろしお」※26.3.16時点の平日の運行時刻を記載

【新大阪駅 → 白浜・新宮駅方面】※一部停車駅抜粋

列車名	新大阪発	和歌山発	白浜発	周参見発	串本発	古座発	太地発	紀伊勝浦発	新宮着
くろしお5号	9:28	10:35	12:01	12:22	12:56	13:05	13:23	13:30	13:53

【新宮・白浜駅 → 新大阪駅方面】※一部停車駅抜粋

列車名	新宮発	紀伊勝浦発	太地発	古座発	串本発	周参見発	白浜発	和歌山発	新大阪着
くろしお30号	15:04	15:21	15:28	15:49	15:57	16:29	16:56	18:20	19:21

地域公共交通再構築調査事業

- 危機的状況にあるローカル鉄道について、国も主体的に関与しながら、鉄道事業者と沿線自治体の共創を促し、単なる現状維持ではなく、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進していくため、関係者の合意形成に向けた支援を行う。

地域公共交通再構築調査事業

ローカル鉄道に係る公共交通再構築に向けた鉄道事業者、沿線自治体等の関係者が参画する協議の場において、廃止ありき、存続ありきといった前提を置かず、ファクトとデータに基づく議論を重ね、必要な場合には対策案の実効性を検証するため実証事業を実施し、効果的な方針を決定するという合意形成のプロセスを支援。

【補助対象事業者】 協議会又は自治体

【補助率】 1/2

【支援対象】

○ 協議会の運営

- ・協議会の開催に係る費用

○ 線区評価のための調査事業の支援

- ・パーソントリップ調査の活用
- ・ビックデータ分析
- ・クロスセクター分析 等

○ 実証事業の支援

- ・対策案の実効性を検証するための、期間を限定して行う以下の取組

鉄道輸送の高度化に向けた検証

(事業例)

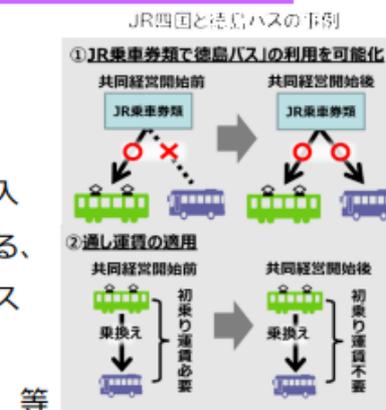
- ・増便、接続改善、ダイヤ変更
- ・現行の技術・安全規制の検証
- ・サイクルトレインの実施
- ・駅、駅前広場等の新たな利活用
- ・季節運賃・旅行者向け運賃の導入
- ・観光列車等の借り入れ、持ち込み
- ・チケットレスシステムの導入 等



バスとの共同運行やバス転換の検証

(事業例)

- ・並行路線バスとの共同運行
- ・鉄道とバスの乗り換え時における共通・通し運賃の導入
- ・一部又は全部の区間における、バス等の新たな輸送サービスの導入



3. 紀南くろしお乗り放題特急券の概要

きっぷの名称	紀南くろしお乗り放題特急券
設定期間	26年4月1日～27年2月28日
発売期間	利用開始日の14日前～前日（例：4月分→3月18日～31日に発売） ※発売枚数に達した場合は購入不可
発売箇所	白浜、串本、紀伊勝浦、新宮駅（みどりの券売機にて発売）
発売区間	白浜～新宮
発売額	17,000円/月 ※別途部会にて一部補助を予定
期間	1カ月単位での発売（月初～月末、月またがりの発売は不可） ※ご利用できない期間の設定あり （GW、お盆、シルバーウィーク、国慶節、年末年始、春節）
利用方法	白浜～新宮間のくろしお全列車の2号車の指定エリアを利用 ※別途乗車券が必要 ※事前に指定席を予約する必要はなし
払い戻し	運行不能時含め不可